

### ＜令和 4 年度実施調査＞

日本救急医学会が、令和 3 年充実段階評価において除外した項目について、令和元年、2 年、3 年、4 年の実績の変化を把握するため、全救命救急センターに対して実態調査を行った。

- ・ 調査期間；令和 4 年 10 月 24 日から令和 4 年 11 月 30 日
- ・ 調査対象機関：300 施設
- ・ 回答施設：144 施設（回答率 48.0%）
  - うち
    - 高度救命救急センター：34 施設（回答施設中 23.6%）
    - コロナ重点医療機関：131 施設（回答施設中 91.0%）
- ・ 回答施設都道府県：全国 42 都道府県（秋田、山梨、福井、香川、鳥取を除く）

#### ○評価項目 7.1 年間に受け入れた重篤患者数（来院時）

令和 2、3、4 年のデータと令和元年のデータを施設毎に比較し、対令和元年比を算出。それぞれの年毎にデータを算出できた施設数が違うことに留意。

- ・ 令和 2 年（139 施設）
  - 中央値 96.4% 四分位範囲（85.6%–103.7%）
  - （最小 43.7%（兵庫）、最大 171.1%（滋賀））
- ・ 令和 3 年（138 施設）
  - 中央値 97.8% 四分位範囲（86.1%–110.7%）
  - （最小 27.4%（愛媛）、最大 264.2%（鹿児島））
- ・ 令和 4 年（127 施設）
  - 中央値 99.8% 四分位範囲（86.5%–114.4%）
  - （最小 49.3%（神奈川）、最大 170.6%（京都））

#### ○評価項目 7.2 地域貢献度

全国の重篤患者数を算出できないため、省略。

※ 項目 7.2「地域貢献度」：地域内の重篤患者数を診察している割合であって、所管地域人口当たりの当該施設に搬送された重篤患者数を全国総人口当たりの全国重篤患者数で除すことで算定する。（地域貢献度（地域内の重篤患者を診察している割合＝所管地域人口当たり当該施設に搬送された重篤患者数/全国総人口当たり全国重篤患者数）が 0.5 以上：2 点）

○評価項目 25 救命救急センターを設置する病院の年間受入救急車搬送人員

令和2、3、4年のデータと令和元年のデータを施設毎に比較し、対令和元年比を算出。それぞれの年毎にデータを算出できた施設数が違うことに留意。

- ・ 令和2年 (143 施設)  
中央値 89.6% 四分位範囲 (85.5%–95.4%)  
(最小 53.3% (兵庫県)、最大 130.0% (大阪府))
- ・ 令和3年 (144 施設)  
中央値 92.6% 四分位範囲 (85.0%–101.5%)  
(最小 38.4% (東京都)、最大 166.8% (岡山県))
- ・ 令和4年 (140 施設)  
中央値 100.1% 四分位範囲 (90.5%–113.4%)  
(最小 40.2% (東京都)、最大 319.5% (岡山県))

○評価項目 28 脳死判定及び臓器・組織提供のための整備等

年内、もしくは過去3年以内に脳死判定シミュレーションを1回以上行った施設数(割合)。

- ・ 令和元年 85/141 (60.3%)
- ・ 令和2年 82/141 (58.2%)
- ・ 令和3年 88/141 (62.4%)
- ・ 令和4年 87/140 (62.1%)

○評価項目 32 地域の関係機関との連携

各年毎の各関係機関との勉強会や症例検討会の1施設当たり平均開催回数を算出。それぞれの年毎にデータを算出できた施設数が違うことに留意。

● 対二次救急医療機関

- ・ 令和元年 3.8回 (〇回施設数 53/142)
- ・ 令和2年 2.8回 (〇回施設数 73/142)
- ・ 令和3年 3.4回 (〇回施設数 73/142)
- ・ 令和4年 2.5回 (〇回施設数 70/138)

●対消防機関

- ・令和元年 6.6回 (0回施設数 9/142)
- ・令和2年 4.6回 (0回施設数 39/142)
- ・令和3年 5.2回 (0回施設数 26/140)
- ・令和4年 4.5回 (0回施設数 21/143)

●対その他施設

- ・令和元年 3.1回 (0回施設数 70/142)
- ・令和2年 2.4回 (0回施設数 86/140)
- ・令和3年 2.5回 (0回施設数 87/140)
- ・令和4年 1.8回 (0回施設数 77/141)

○評価項目 37.1 救急救命士の挿管実習および薬剤投与実習の受入状況

各年毎の挿管実習、薬剤投与実習の1施設当たり平均受入人数を算出。それぞれの年毎にデータを算出できた施設数が違うことに留意。

●挿管実習

- ・令和元年 4.7人 (0人施設数 36/141)
- ・令和2年 3.4人 (0人施設数 54/141)
- ・令和3年 4.0人 (0人施設数 50/142)
- ・令和4年 3.9人 (0人施設数 46/142)

●薬剤実習

- ・令和元年 7.0人 (0人施設数 64/141)
- ・令和2年 6.0人 (0人施設数 73/140)
- ・令和3年 5.3人 (0人施設数 75/140)
- ・令和4年 5.0人 (0人施設数 76/138)

○評価項目 37.2 救急救命士の病院実習受入状況

各年毎の病院実習の1施設当たり平均受入回数を算出。それぞれの年毎にデータを算出できた施設数が違うことに留意。

- ・令和元年 64.8回 (142)
- ・令和2年 54.0回 (143)
- ・令和3年 61.3回 (143)
- ・令和4年 50.7回 (142)

#### ○評価項目 40 医療従事者への教育

各年毎の医療従事者への教育（院内向け、院外向け）を実施した施設数（割合）。それぞれの年毎にデータを算出できた施設数が違うことに留意。

##### ●院内向け

- ・令和元年 138/143 施設 (95.5%)
- ・令和2年 131/143 施設 (91.6%)
- ・令和3年 133/143 施設 (93.0%)
- ・令和4年 138/144 施設 (95.8%)

##### ●院外向け

- ・令和元年 112/143 施設 (78.3%)
- ・令和2年 85/143 施設 (59.4%)
- ・令和3年 82/143 施設 (57.3%)
- ・令和4年 98/144 施設 (68.1%)

#### ○評価項目 41 災害に対する教育

各年毎のBCPに基づく訓練、災害訓練への参加を実施した施設数（割合）。それぞれの年毎にデータを算出できた施設数が違うことに留意。

##### ●BCPに基づく訓練・教育

- ・令和元年 128/141 (90.8%)
- ・令和2年 115/142 (81.0%)
- ・令和3年 120/142 (84.5%)
- ・令和4年 126/143 (88.1%)

##### ●災害訓練への参加

- ・令和元年 138/143 (96.5%)
- ・令和2年 109/143 (76.2%)
- ・令和3年 111/143 (77.6%)
- ・令和4年 132/144 (91.7%)